JFA 第４９回全日本 U-12 サッカー選手権大会　和歌山県大会
実　施　要　項

１．主　催　　公益財団法人日本サッカー協会　公益財団法人日本スポーツ協会　日本スポーツ少年団
読売新聞社　一般社団法人和歌山県サッカー協会

２．主　管　　一般社団法人和歌山県サッカー協会　４種委員会

３．後　援　　日本テレビ放送網　報知新聞社　公益社団法人和歌山県スポーツ協会　上富田町教育委員会

４．協　賛　　U-12 トップパートナー
ＹＫＫ／花王／日清オイリオグループ／ゼビオ／日本マクドナルド
U-12 カテゴリーパートナー
ANA／クレディセゾン／TENTIAL／アディダス ジャパン／日本シグマックス／
テーブルマーク／hacomono

５．期　日　　２０２５年１１月２日(日)・９日(日)・２４日(祝・月)

６．会　場　　上富田スポーツセンター(１１月２日・９日)
田辺スポーツパーク陸上競技場(１１月２４日)

７．参加費　　10,000 円／チーム　締切期日１０月２１日（火）
振込先：紀陽銀行　東和歌山支店
一般社団法人和歌山県サッカー協会
普通貯金　【口座番号】2011512

８．協　力　　モルテン

９．参加資格　(1)2025 年度に日本サッカー協会第 4 種に加盟登録し、本大会の参加申込書を提出したチーム(参加申し込みは WEB にて行う)であること。
(2)各地区６ブロックにおいて、予選を勝ち抜いたチームとその登録選手、県 U-12 ホップリーグ 1 部後期上位５チームとその登録選手。
(3)参加チームは必ず傷害保険(スポーツ安全傷害保険)に加入していること。
(4)参加チームの構成は、単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は、年間を通じて継続的に活動した「加盟チーム」に所属している選手とする。
当該チームがブロック予選及び県 U-12 ホップリーグ 1 部後期へ参加登録した選手が 20 名に満たない場合は､｢加盟クラブ｣内の選手より 20 名を上限として補充することができる。
また、異なる加盟チームからの移籍後や、複数チーム参加のクラブ内での選手及び監督、コーチ、審判員の入れ替えによる参加は認めない。
(6)同一参加選手が異なる加盟チームへの移籍後再び参加する事は出来ない。
(7)参加チームは県 U-12 ホップリーグ（1 部・2 部・3 部）に参加していること。
(8)大会事務局等で撮影した写真及びＡＩカメラで撮影した映像を、主催、主管団体、協賛企業・団体により、本件事業に関連する運営、広報活動(本大会の決勝戦のインターネット配信(録画配信))、ホームページの掲載､SNS、製作物等へ使用することについて、選手・保護者の同意を得ていること。
(9)本大会に参加する登録選手は、原則（公財）日本サッカー協会発行のＷＥＢで打ち出した選手証を持参しなければならない。
ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。

選手証が確認出来ない場合は、試合に出場できない。
※選手証とは、日本サッカー協会WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証で
今大会は、登録選手一覧を背番号順に印刷したものとする。
（指導者に関しては、スマートホン等でライセンス証を確認する。）

(10)指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある 20 歳以上の指導者であること。
また、ベンチ入りする指導者は、日本サッカー協会公認指導者ライセンス（D 級コーチライセンス以上）を有すること。当日、受付時にライセンスチェックを行う。
なお、JFA 第 49 回全日本 U-12 サッカー選手権大会は、ベンチ入りするチーム役員のうち、戦術的な指示やコーチングを行う者(監督・コーチ等)は、全員がサッカーＤ級コーチライセンス以上を有し、かつ、少なくとも 1 名はＣ級コーチライセンスを有すること。
また、試合時においては、Ｃ級コーチライセンスを有するチーム役員が 1 名以上ベンチ入りすることとなる予定。

(11)参加選手は健康であり、保護者の同意を得ること。

10. 参加チーム及びその数

(1)各ブロック(6 地区)の代表 26 チーム及び県 U-12 ホップリーグ 1 部後期の上位 5 チームの合計３１チーム

(2)参加チームの構成は、WEB 登録した選手 20 名以内、指導者は、5 名以内とする。
なお、指導者のうち 1 名を監督とすること。

11. 大会形式　(1)トーナメント方式
県 U-12 ホップリーグ 1 部後期の上位 4 位を第 1 シードとし、県 U-12 ホップリーグ 1 部後期の 5 位と地区上位チームを第 2 シードとする。
その他は、フリー抽選とし同じブロック同士が 1 回戦から対戦しない様に組み合わせる。

12. 競技規則　(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」及び「8 人制サッカー競技規則」による。
（今大会には、2024/2025 版競技規則を適用する）

13. 競技会規定

(1)競技フィールドの表面は人工芝及び天然芝を使用する。

(2)競技フィールドのサイズは以下のとおりとする。
フィールドの大きさ：長さ(タッチライン)は 68m×幅(ゴールライン)50m。
ゴールの大きさ：間隔 5m×高さ 2.15m。ペナルティーエリア：12m
ペナルティーマーク：8m。ペナルティアークの半径：７m。
ゴールエリア：4m。センターサークルの半径：7m。

(3)試合球　アディダス社製「コネクト 25 プロキッズ(ＡＤＦ400･4 号球)」を使用する。

(4)競技者の数
1 チーム 8 人の競技者によって行われる。内 1 人はゴールキーパーとする。
開始前 8 人に満たない場合は試合を行わず、0 対 3 として敗戦したものとする。
試合中に怪我等による人数不足により 8 名に満たなくなった場合には、そのまま続行する。
その他は、競技規則による。
登録できる交代要員は 8 名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり再び出場することができる。
交代の回数は制限されない。

(5)ベンチ入りするチーム指導者の数は、2名以上3名以下（これに反した場合は大会規律委員会より懲罰を科す）とする。
なお、ベンチ入りする指導者は、日本サッカー協会公認指導者ライセンス（D級コーチライセンス以上）を有すること。
(6)ベンチを出て、テクニカルエリア内での戦略的指示を伝えることが出来るのは、ただ1名とする。その指導者は、大会本部へ事前に申し出ること。ＡＤカードを発行します。
その他の役員は、ベンチ内からの戦略的指導は控えること。
(7)サイドコーチ・異議　ベンチ入りする役員が審判員の判定や指示に対して異議を申し立てる行為や選手に対して罵声などネガティブな発言を行った場合は、罰則処分(警告､退場)の対象となる。
なお､その行為を行った者が特定できない場合､監督が罰則を受けることとなる。
(8)競技者の用具・ユニフォーム
①本協会のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
審判員は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断した時は、組み合わせ表の上側チームが優先権を持つことを伝える。
②ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ソックス）については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを参加申込書（WEB登録）の際に記載し、各試合に必ず携行すること（FP・GK用共）。本協会に登録されたものを原則とする。
③シャツの前面･背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号については、つけることが望ましい。
④選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。
⑤ユニフォームの色、選手番号の参加申込締切日以後の変更は認めない。
⑥ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合はソックスと同色でなくても良い。
⑦アンダーシャツ、アンダーショーツ、タイツの色
アンダーシャツの色は問わない。原則、チーム内で同色のものを着用する。
アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。原則、チーム内で同色のものを着用する。
⑧ユニフォームへの広告表示については、日本サッカー協会第4種大会部会が別途定める規定に基づくものでなければならず、参加申込み前までに、本協会に承認された場合のみに認められる。
⑨競技者の用具は、シャツ、ショーツ、ソックス、レガース、シューズとする。
また、ヘットギアー、ノーズカバー、ヘアバンドは認めるが、それ以外の装飾品を身につけての試合出場は認めない。（試合に不必要な物は原則認めない。）
(9)試合時間
①試合時間は40分（前後半各20分）とする。
ハーフタイムの時間は前半終了後（前半終了の笛～5分間）原則５分間とする。
②規定時間内に決定しない場合は、3名ずつによるＰＫ戦(ペナルティーシュートアウト)方式により勝利チームを決定する。
ただし、決勝戦は10分間(前後半各5分)の延長戦を行い、なお決しない場合は、3名ず

つによるＰＫ戦(ペナルティーシュートアウト)方式により勝利チームを決定する。
延長戦に入る前のインターバルは原則5分間とする。
ＰＫ戦(ペナルティーシュートアウト)方式に入る前のインターバルは原則1分間とする。
③決勝戦のみアディショナルタイムの表示を行う。

(10)交代手続き
①交代して退く競技者は交代ゾーンからフィールドの外に出る。ただし、交代して退くゴールキーパーは境界線の最も近い地点からフィールドの外に出なければならない。
②交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
③交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。
④交代は、主審の承認を得る必要はない。
⑤ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
※交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。

(11)負傷者の対応　主審が認めた場合のみ、最大2名ピッチへの入場を許可される。

14．懲罰　(1)地区予選は懲罰規定上の当該競技会とみなし､地区予選終了時点で退場・退席による未消化の出場停止処分は、本大会において順次消化する。ただし､警告の累積による場合を除く。
(2)本大会において、退場を命じられた競技者は次の1試合に出場できない。
それ以降の処置については本大会規律委員会で決定する。
(本大会規律委員会は、4種委員長、4種副委員長、4種審判委員長、担当ブロック長とし、悪質で2試合以上の出場停止処分を科する場合は、和歌山県サッカー協会規律委員長へ報告し判断を仰ぐ。)
競技者が退場を命じられた場合は、そのチームの交代要員の中から競技者を補充することができる。補充している間は試合を停止する。
(3)本大会の異なる試合において累積警告を2回受けた競技者は次の1試合に出場できない。
(4)本大会の規定にない事象が発生した場合は、大会規律委員会で審議し4種委員長が決定する。
(5)全国大会と本大会(県予選)は懲罰規定上の同一競技会とみなし､本大会(県予選)終了時点で退場・退席による未消化の出場停止処分は、全国大会において順次消化する。
ただし､警告の累積による場合を除く。

15．審判　(1)主審、副審2名の3名体制とする。(ユース副審の割り当ても有ります)
主審は、(一社)和歌山県サッカー協会の審判委員会に割り当てを依頼するが、県派遣が不可能な場合は担当で主審を行う。(4種審判委員長が県審判委員会に依頼する。)
副審については、担当ブロックで行う。(準決勝・決勝戦は主審､副審2名､予備審の4名とする。)

16．表彰　(1)優勝チームには(公財)日本サッカー協会より表彰状及びトロフィーを贈呈
(一社) 和歌山県サッカー協会より賞状及びトロフィー・メダルを贈呈
協賛社さまより副賞が贈呈される。
(2)準優勝・第３位・第４位チームには(公財)日本サッカー協会より表彰状を贈呈
(一社) 和歌山県サッカー協会より賞状及びトロフィー・賞状を贈呈

(3)上位４チームの中から、努力賞が協賛社さまより贈呈される。

17. 参加申込(1)参加登録は、本大会出場チームは、最大選手 20 名、役員 5 名とする。
（試合のベンチ入りは、選手 16 名以内、指導者 2 名～3 名とする。）

(2)出場チームは、(公財)日本サッカー協会 WEB 登録システムにて、必要事項を入力し 10 月 21 日（火）21 時までに参加申込手続きを行うこととする。
期日までに、手続きを済ませていないチームは、本大会の出場資格を失う。

(3)登録選手は、(公財)日本サッカー協会登録の選手証を背番号順に WEB 登録システム「KICKOFF」から出力し、写真入りでの顔の認識ができるものである登録一覧を事前に本大会運営(4 種委員長)にメールで提出する。(本大会登録選手 20 名のみの登録証)
（送付先：4 種委員長　赤津民芳　アドレス　cfcse903@jtw.zaq.ne.jp）

(4)参加登録以降、選手の変更は原則認めない。ただし役員の変更は、各チームの大会出場初日の受付時まで認める。

18. 組合せ　（一社）和歌山県サッカー協会 4 種委員会にて抽選し決定する。

19. その他　(1)競技中の負傷について応急処置はするが、以降の責任は負わない。
なお、大会期間中の休日急患医療機関の連絡先は、「田辺市救急安心センター」＃7119 にて確認できますが、必要であれば、当日、本部にて連絡先一覧を配布させていただきます。

(2)メンバー表の提出については、ベンチ入り選手(16 名以内)に、先発 8 名は○、サブ 8 名以内は△を記載して、試合時間 30 分前までに大会本部に提出する。

(3)選手証のチェックは、17.参加申込(3)に記載の通り事前確認を行うため、実施しない。
また、選手による本部挨拶も不要。爪チェックについては、開催日ごとに、各チーム最初の試合前の整列時に行う。
不測の事態が起きた(怪我等で選手を入れ替える)場合のみ当日選手証の提出が必要。
なお、未登録選手の出場等の非紳士的な行為(不正)があった場合は、本大会規律委員会で厳重な処分を決定することとする。《大会出場の禁止》
また､以後の措置についても本大会規律委員会にて協議して決定する。

(4)県大会への出場チームの選手について、県 U-12 ホップリーグ(1 部・2 部･3 部)後期、予選に出場した参加チームと選手に限る。
上記を踏まえ予選出場メンバー以外の選手の出場が認められるのは以下の通り。
① 予選エントリーが 20 名に満たなかったチームの追加選手エントリー
② 怪我・病気等で大会参加が出来なくなった選手の入れ替えによるエントリー
※また、他チーム（県内外を問わず）で同大会にエントリーされた選手が移籍して本大会にエントリーする事は認めない。

(5)本大会のエントリー後の指導者等の変更については、当日､怪我・病気等で参加出来なくなり､ベンチ入り指導者等が 2 名に満たなくなる場合のみ､試合前に受付に欠席理由及び変更を申し出て､承認を必ず得ること。（変更の指導者は､有資格者(Ｄ級以上)であること。）

(6)ウエルフェアオフィサーについては、準決勝及び決勝に配置する。（４種技術委員長及び運営ブロック等で行う。）

(7)開会式について、実施しない。閉会式は、準決勝に残った 4 チームが参加すること。

(8)JFA 第 49 回全日本 U-12 サッカー選手権大会全国大会への参加資格
【2025 年 12 月 26 日(金)～12 月 29 日(月)　鹿児島ふれあいスポーツランド　他】

① 「参加チーム」及び「参加選手」は、和歌山県大会で優勝したチームと選手とする。

② 当該チームの和歌山県大会での登録選手数が、20名に満たない場合は、加盟チーム内の選手から20名を上限として補充することができる。

(9)本大会は、通信機器を使っての戦術的指導やチームによるグラウンド内でのビデオ撮影又は写真撮影は禁止とします。(但し、試合前においての集合写真は許可する。)

(10)本大会は、運営側の写真撮影や協力各社カメラマンによる撮影については許可する。また、撮影された写真については、大会運営側において、(一社)和歌山県サッカー協会で活用する場合がある。(試合風景、表彰式等のＨＰ掲載のため)

(11)本大会は、(一社)和歌山県サッカー協会技術委員会等によるグラウンド内で大型三脚及びＡＩカメラによる撮影を行う場合がある。

(12)本年も、全都道府県大会の決勝戦を対象とした、インターネット配信(録画配信)を実施するため、決勝戦のみ、グラウンド内で大型三脚及びＡＩカメラにより、全国大会事務局で撮影する予定。

(13)天候についての処置

試合会場に於いて警報が発令された場合は、試合時間調整又は順延する場合が有ります。順延等の場合は、４種委員長と４種副委員長並びにJFA・U-12全日本決勝大会担当事務局と協議し決定する。その場合は、各ブロック長を通して午前７時頃連絡する。

(出場チームへの連絡は、ブロック長より)

(14)不測の事態(急な天候不良等)が起こった場合は、大会役員が協議のうえ、大会責任者(4種委員長)の判断により決定、実施する。

【必要書類】

大会当日

１．選手登録証	事前に提出しているが、当日持参する事
２．申し送り表	毎試合ごとに、メンバー表と一緒に本部に提出。 勝った場合は、本部で受け取り、上記の通り次試合前に提出。
３．メンバー表	受付時に受け取り、時間までに提出